

第5学年 国語科学習指導案

児童：5年1組 男子17名 女子14名
指導者：船越裕子

1 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう 教材名 「わらぐつの中の神様」

2 単元について

(1) 教材について

本単元は行動描写・会話などから人物像を読み取り、人物の考え方や生き方について自分なりの感想をもつことをねらいとしている。

教材「わらぐつの中の神様」は雪国を舞台とした温かい心の結び付きを描いた作品である。構成としては、大きく「現在」→「過去」→「現在」の3つの場面構成になっている。1と3の場面では、マサエが主人公となって展開する。2の場面では、不格好だが、履く人の身になって丹精こめて作ったわらぐつを介して、本当に大切なものをしっかりとらえて心を通い合わせたおみつさんと若い大工さんの生き方・考え方が語られる。3の場面では、この話を聞いたマサエが本当に大切なものは何かに気付き変容する姿が描かれている。

また、この構成の巧みさや擬態語・擬音語による表現、豊かな比喻表現、慣用句、方言を交えた会話など、的確で豊かな表現が用いられている。

以上のことから、本教材は、登場人物の人柄や心情・場面の情景を叙述に即して読む力を育てるのに適しているとともに、登場人物の誠実な人柄や心情・心の通い合いに触れ、自分の物の見方や考え方、生き方について考えながら読み進めることに適した教材である。

(2) 子どもの実態

子どもたちは5年生の最初の単元「新しい友達」で、叙述に即して登場人物の心情の変化を読み取る学習をしている。

多くの子どもが、登場人物の行動や会話、情景描写の中に心情を表わす表現があることに気付き、目を向けるようになってきているが、自分なりの読みをノートにまとめたりすることは、十分に身に付いていない。

本研究の内容である「教材とのかかわり」では、叙述に即して内容を読み取り、自分なりの感想をまとめることに意欲的に取り組めるようになってきている。また、心情を表わす語句にサイドラインを引き、そこから心情を考えられるようになってきているが、自分でその表現を見つけ出すことが難しい子どももいる。

また、「友達とのかかわり」については、自分の考えに自信がなかったり、自分の考えがあっても読み取ったことをうまく表現できないため、発言できない子どももいる。そこで、ペアで一人学びを確認する場面を設定し、一人学びでまとめた自分の読みや感想を友達に聞いてもらい、考えを確かめたり、友だちの考えを認めたりする活動を行ってきた。ペアで確認することにより、どの子どもも自分の考えを発表する機会を作ることができ、学習への参加意欲が高まっている。

(3) 指導にあたって

①教材文とのかかわり

本単元の指導にあたっては、学習計画の段階で「わらぐつの中にいる神様とは何か」という単元を通しての大きな課題を設定し、その課題に向けて読み進めることで意欲を持続させていきたい。課題追究・課題解決の段階では「わらぐつ」を介して登場人物の心の動きを読み取っていく。1場面では、わらぐつに対するマサエとおばあちゃんの考え方の違いをとらえる。2場面では、おみつさんと大工さんの人柄や考え方、心の通い合いを読み取っていく。3場面では、変化していくマサエを1場面と比較しながら読みとらせていく。その際、登場人物の行動や会話などにサイドラインを引かせ、その部分から分かる考え方や心情を書きこませることで、自分の読みをもたせたい。さらに、わらぐつの中の「神様」とは、何かということを考えさせ、心の純粋さ、正直さ、思いやりなどは大切であるという普遍的な価値に気付かせ、自分なりの考えをもたせたい。

②友達とのかかわり

一人学んで読み取ったことを交流する中で、自分の読みを確認したり、友達の読みを認めたりして、自分なりの考えがもてるようにさせていく。そのために、ペアで考えを交流する機会を設定し、全体での学び合いにつなげたい。友達の発表を聞く際には、自分の考えとの相違に気を付けて聞き合い、友達と学び合うことで、自分の考えが確実なものになることを意識させたい。

3 単元の目標

観点	目標
国語への関心・意欲・態度	人物の考え方や生き方について考えながら、進んで作品を読もうとする。
読む能力	登場人物の人柄や心情・場面の情景を叙述に即して読むことができる。 (ウ)
言語についての知識・理解・技能	方言と共通語の違いを理解する。(カー (イ)) 読み手を引きつけるための展開の効果に気付き、理解する。(オー(ア))

4 単元の学習指導計画と評価規準 (10時間 読むこと9 言語1)

段階	時間	○学習の目標 ・主な活動	評価規準 (評価方法)		
			国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
学習計画	1	○全文を通読して、感想を書くことができる。 ・心に残った言葉や場面を見つけ、感想を書く。 ・新出漢字と難語句の学習をする。	・「わらぐつの中の神様」に興味をもち、感想をもとうとしている。 (ノート・発言)	・どの場面が、なぜ心に残ったのか、感想を具体的に書いている。 (ノート)	・「わらぐつ」「朝市」「雪げた」などの言葉や新出漢字を理解している。 (発言)
	2	○学習計画を立てることができる。 ・感想をもとに、単元を通しての学習課題を設定する。 ・場面わけをし、場面ごとの学習課題を設定する。	・感想をもとに、課題を設定しようとしている。 (ノート・発言)	・場面ごとの様子をおさえ、学習課題をとらえている。 (ノート・発言)	・現在一過去一現在の文章構成を理解している。 (ノート・発言)
課題追究	1	○1の場面を読み、マサエとおばあちゃんの考え方の違いを読み取ることができる。 ・場面の設定を叙述から読み取る。 ・マサエ・おばあちゃんの行動から、その人柄を読み取る。 ・マサエとおばあちゃんの「わらぐつ」に対する考え方の違いをまとめる。	・場面の様子やマサエとおばあちゃんの考え方の違いについて、行動や会話をもとに読み取ろうとしている。 (ノート・発言)	・マサエとおばあちゃんの人柄や「わらぐつ」に対する考え方の違いを読み取り、まとめている。 (ノート・発言)	・人物の行動の描写や性格の描写に使われている語句を理解している。 (ノート・発言)

2	<p>○2 場面 P8010～P1207 から、おみつさんの人柄や雪げたへの思いを読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おみつさんの行動や会話にサイドラインを引き、そこからわかる人柄や思いを読み取る。 ・ わらぐつが欲しくてたまらなくなったおみつさんの心情をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ おみつさんの人柄や思いについておみつさんの行動や会話をもとに考えようとしている。(ノート・発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ おみつさんの人柄と雪げたに対する思いを行動や会話から読み取り、まとめている。(ノート・発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人物の行動の描写や性格の描写に使われている語句を理解している。(ノート・発言)
3	<p>○2 場面 P1208～P1405 からわらぐつを編むおみつさんの考えや人柄を読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わらぐつを作るおみつさん行動にサイドラインを引き、おみつさんの人柄を読み取る。 ・ おみつさんの人柄についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ わらぐつを編むおみつさんの考えから、おみつさんの人柄を考えようとしている。(ノート・発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ わらぐつを編むおみつさんの考えからおみつさんの誠実な人柄を読み取り、まとめている。(ノート・発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人物の行動の描写や性格の描写に使われている語句を理解している。(ノート・発言)
4 本 時 4 ー 6	<p>○2 場面 P1406～P16011 からおみつさんが若い大工さんをおがみたくなった気持ちを読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わらぐつを売っておみつさんの行動や会話からおみつさんの心情を読み取る。 ・ 「おがみたいきもち」になったおみつさんの気持ちをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ おみつさんの行動や会話からからおみつさんの心情の変化を読み取り、おがみたくなった気持ちをまとめようとしている。(ノート・発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ おみつさんの行動や会話からからおみつさんの心情の変化を読み取り、おがみたくなった気持ちをまとめている。(ノート・発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人物の行動の描写や性格の描写に使われている語句を理解している。(ノート・発言)
5	<p>○2 場面 P16012～P2006 から、大工さんの人柄や仕事に対する考え方とおみつさんの心の通い合いを読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会話から大工さんの考え方や物の見方を読み取る。 ・ おみつさんとの共通点を話し合い、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会話から大工さんの仕事に対する考え方や物の見方、おみつさんとの心の通い合いを読み取ろうとしている。(ノート・発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会話から大工さんの仕事に対する考え方や物の見方、おみつさんとの心の通い合いを読み取り、まとめている。(ノート・発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人物の行動の描写や性格の描写に使われている語句を理解している。(ノート・発言)
6	<p>○3 場面からマサエの変容を読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 場面のマサエと対比させ、マサエの変容を読み取り、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 場面と対比させ、マサエの変容を読み取ろうとしている。(ノート・発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 場面との対比から、マサエの変容を読み取り、まとめている。(ノート・発言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人物の行動の描写や性格の描写に使われている語句を理解している。(ノート・発言)

課題解決	1	○単元を通しての課題について考え、まとめることができる。 ・「神様」とはどんなものかを話し合い、まとめる。	・「神様」とはどんなものか、物語の主題に沿って考えようとしている。 (ノート・発言)	・マサエの変容やおばあちゃんの思いから「神様」とは何を意味するか、自分の考えをまとめている。 (ノート・発言)	
関連	1	○方言と共通語の違いを理解することができる。	・方言に興味を持ち、共通語との違いを比べながら、それぞれの特徴やよさを考えようとしている。 (ノート・発言)		・方言と共通語の違いとそれぞれのよさを理解している。 (ノート・発言)

5 本時の学習（課題追究 4／6）

(1) 学習の目標

若い大工さんをおがみたいような気がしたおみつさんの気持ちを読み取ることができる。

(2) 評価規準

【読む能力】

おみつさんの行動や会話からおみつさんの心情の変化を読み取り、大工さんをおがみたいような気がしたおみつさんの気持ちをまとめている。

(3) 展開

段階	学習活動	教師のはたらきかけと評価
課題把握と見通し	1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> ・おみつさんの作ったわらぐつがどんなわらぐつだったかを確認する。
	2 本時の学習場面と課題をつかむ。 ・学習課題を確認する。 おみつさんは、なぜ若い大工さんをおがみたくなつたのだろう。	
5分	3 課題解決の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・会話や行動、心情を表わす言葉に注目すればよいこと、大きく3つの場面に分けられることを確認する。
課題追究 25分	4 学習場면을音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・2場面③を形式段落ごとに音読させる。 ・売りに行く前のおみつさんの様子からどんな気持ちになっているか、考えをペアで交流する。 【友達とのかかわり】
	5 おみつさんの心情について読み取る。 (1) 売りに行く前の場面について、おみつさんの心情を読み取る。	

	<p>(2)朝市に出てわらぐつを売るおみつさんの心情を読み取る。</p> <p>(3)若い大工さんがわらぐつを買う場面のおみつさんの心情を読み取る。(一人学び)</p> <p>(4)書き込んだ心情を発表し、心情の変化を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話文を示し、前後の行動を示す語句などと関連させ、そこから分かる心情を確認する。 【教材文とのかかわり】 【友達とのかかわり】 ・(2)の学習を手がかりに会話と前後の行動や様子を関連させ、心情を書きこませる。 【教材文とのかかわり】 ・おみつさんの会話を中心に、書き込んだことをペアで交流し、自分の読みを確かめる。 【友達とのかかわり】 ・全体で話し合い、会話の前後にある言葉に着目させながら、おみつさんの心情と大工さんの心情を確認する。
<p>課題解決</p> <p>12分</p>	<p>6 課題についてまとめる。</p> <p>(1)若い大工さんをおがみたいような気がしたおみつさんの気持ちを考える。</p> <p>(2)まとめたことを発表する。</p>	<p>【具体の評価規準（方法）と指導の手立て】</p> <p>はじめてわらぐつが売れて、若い大工さんをおがみたくなったおみつさんの気持ちを心情の変化をとらえながらまとめている。(ノート)</p> <p>(例)心をこめてわらぐつを作ったのに、やっぱり不格好なわらぐつだから売れないとがっかりして、雪げたを買うなんて無理かなあとあきらめかけた。そんなときに、わらぐつを買ってくれたので、雪げたを手に入れられそうな気がした。買ってくれた大工さんが自分の望みをかなえてくれる人のように思えてうれしくなり、おがみたいような気持ちになった。</p> <p>・おがみたくなるようなうれしい気持ちをまとめることができた子どもには、大工さんは、心をこめて作ったわらぐつだということがことがわかったから買ったのだということにもふれたまとめをさせる。</p> <p>・おみつさんの気持ちがまとめられない児童には、文型を示したものを用意して、まとめさせたい。</p> <p>・2名ほど指名し発表させる。</p>
<p>まとめ</p> <p>3分</p>	<p>7 学習の振り返りをする。</p> <p>8 次時の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の感想を発表させる。 ・2場面④について大工さんの考えを読み取ることを確認する。

(4) 板書計画

わらぐつの中の神様

杉 みきこ

おみつさんは、なぜ若い大工さんをおがみたくなったのだろう。

売りに行く前の場面

自分の手の届くところへ出てきたような気がして、楽しくなりました。

雪げたが近づいたみたいでうれしい。わらぐつを売るぞ。

朝市で売っている場面

「はしっこにおきました。わらぐつはどうですかね。」

「ちょっとはずかしいなあ。自信がないなあ。」

くすくす笑ったり、あきれた顔をしたり、

「いいや、よかったでね。」

「ずいぶんかっこうが悪いなあ。そんなみっともないわらぐつはない。」

「やっぱり私が作ったんじや、だめなのかなあ。」

「じょうぶにつくったんだけど、かっこうが悪いからなあ。やっぱり売れるわけないかなあ。雪げた買うのはむりかなあ。」

大工さんが買ってくれた場面

「あんまり、みつともよくねえわらぐつでー。」

赤くなりながら、おすおすとたてにしたり横にしたりして、しばらくながめてから、今度はおみつさんの顔をまじまじと見つめました。

「このわらぐつおまんが作んなったのかね。」

「はじめで作ったもんで、うまくできねかったけどー。うれしくてうれしくて、おがみたいような気がしました。」

「かっこうは悪いが、ずいぶんしっかり作ってある。」

「やっと売れた。雪げたが買えるかも。願いをかなえてくれる人みたいに思える。」